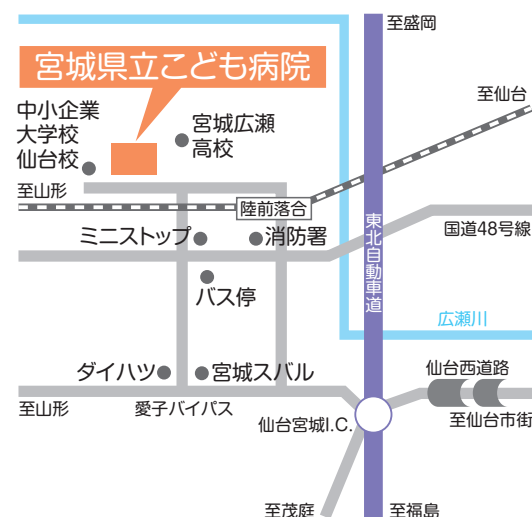


地方独立
行政法人 **宮城県立こども病院**
〒989-3126 宮城県仙台市青葉区落合四丁目3番17号
<https://www.miyagi-children.or.jp/>

病 院 代 表 TEL:022-391-5111 FAX:022-391-5118
地域医療連携室 TEL:022-391-5115 FAX:022-391-5120

交通のご案内

JR仙山線 …陸前落合駅より徒歩15分
車 ……仙台駅より20分 仙台宮城I.C.より7分
バ ス ……定義・作並温泉・熊ヶ根・白沢車庫行き
「宮城広瀬高校・こども病院前」下車徒歩5分
(仙台駅西口バスのりば10番発、所要時間約40分)



宮城県立こども病院

MIYAGI CHILDREN'S HOSPITAL

2023年度版

診療のご案内

すべての子どもにいのちの輝きを

宮城県小児総合医療整備基本計画基本理念

元気のでるファミリーホスピタル

宮城県立こども病院設計理念

理事長・院長特別補佐
今泉 益栄



院長
呉 繁夫



地域と連携し、患者・家族が 元気のでるこども病院を目指して

宮城県立こども病院は2003（H15）年11月に、東北唯一の小児周産期・高度専門医療施設（県立民営）として開院し、2006（H18）年4月に地方独立行政法人に移行しました。さらに、2016（H28）年3月、宮城県立拓桃園と統合し、当院は小児・周産期医療の急性期から慢性期、リハビリテーション、在宅医療までを担う医療・福祉施設になりました。現在の病院規模は、病床数は241床、27診療科（内科系10科、外科系10科、総合系7科）。2022年度は延べ外来患者が約9万2千人、新入院患者が約4千6百人（延べ入院患者数が約5万7千人）を超えました。連携施設から多くの患者さんをご紹介いただきましたことに感謝申し上げます。

2020年1月のCOVID-19パンデミック以来、当院は宮城県入院協力医療機関として小児COVID-19診療を担ってきました。2022年度はオミクロン変異株の流行で小児患者が増大し、195人が入院しました。多大な医療資源を必要とし、本来の病院診療との両立に大変苦労しました。現在COVID-19は5類扱いとなり、病院診療のCOVID-19以前の復帰を図っています。しかし、COVID-19が加速した少子化など社会変化は絶大で大きな適応圧力となって我々に押し寄せています。

最近の社会状況と医療環境は物凄い速さで変化しています。特に小児医療では、感染症の減少や発達障害の増加など疾病構造の変化が顕著です。医学の進歩と治療成績の改善で医療的ケア児が増加し、成長する小児患者を成人医療に引き継ぐ成人期移行支援が益々重要です。また、働き方改革による職員の就労環境の改善も急務です。

少子化が進む社会状況下において、小児医療を支える病院の役割はますます重要です。激動の時代であればこそ、当院の立ち位置を見定め、患者・家族と連携施設のために果たすべき役割を改めて確認し、病院職員のチームワークと柔軟な発想で課題を乗り越える所存です。どうぞ、宮城県立こども病院に対する皆様の温かいご支援とご理解を、心からお願い申し上げます。

創立20周年を迎えて

宮城県立こども病院「診療のご案内」を御覧いただきありがとうございます。

当院は今年11月に創立20周年を迎えます。先人の高い見識と多くの困難を乗り越える強固な意志により、東北初のこども病院が完成しました。設立にご尽力いただいた多くの方々に敬意と感謝を表します。こども病院設置により、小児医療の各専門分野の専門医を配置できたばかりでなく、次世代の専門医を育成できる研修システムが完成しつつあります。これにより、高度な小児専門医療を持続的に提供することが可能になるものと思います。

小児を取り巻く社会環境は急速に変化しています。最も大きな課題は、「急速に進む少子化」と考えます。この課題解決には「安心して生み育てることができる」環境整備が必要で、その要因の一つが小児医療の充実です。この重要な課題解決に向け、当院のスタッフ全員結束して、小児医療の向上を目指したいと思います。

私は昨年度当院に着任しました。当院着任前は、東北大学病院小児科に勤務していました。大学病院とこども病院、同じ高度小児医療を提供する施設でありながら、この二者には大きな違いがあり、各々の良いところ、改善すべきところを日々感じながら勤務しています。建物から組織まで全て小児向けに作られたこども病院を以前から羨ましく感じていました。こども病院に設置された楽しい遊具で一杯の玄関ホール、こどもの高さに合わせた便器、カラフルな病室、いずれも大学病院には無いもので、お子さんもご家族も「元気のでる」病院で働けることを嬉しく思います。一方、大学病院には医学生、初期研修医、若手医師が多く、日々新しい感覚を持った若者が出入りし、小児先端医療を極めようとする若者が現れ、私自身の考えの固定化を打ち破ってくれます。日々変化していくことを楽しみながら、社会の変化に対応できるこども病院を目指したいと考えています。

病 院 の 理 念

私たちは、
こどもの権利を尊重し、こどもの成長を育む
心の通った医療・療育を行います。

私たちは、
高度で専門的な知識と技術に支えられた、
良質で安全な医療・療育を行います。

病院の基本方針

- 1 チーム医療・育成医療及び総合的な療育プログラムを実践し、温かい医療・療育を行います。
- 2 こどもの成長・発達に応じたきめ細やかな医療・療育を行い、自立の心を育みます。
- 3 一人ひとりの成長・発達に寄り添い、安全で潤いのある療養・療育環境を整えます。
- 4 小児医療と療育の中核施設として、地域の関係機関と連携し、患者や家族の地域での生活を支えます。
- 5 こどもや家族と診療・療育内容の情報を共有し、情報公開に努めます。
- 6 自己評価を行い、外部評価を尊重するとともに、業務の改善や効率化を図り、健全経営に努めます。
- 7 臨床研究及び人材の育成を推進し、医療・療育水準の向上に貢献します。
- 8 職員の就労環境を整備するとともに、職員の知識・技術の習得を支援します。

病院のこども憲章

この憲章は宮城県立こども病院でのこどもたちやご家族の権利を示すものです。

- 1 こどもたちは、こどもの病気を治すことを専門とする職員によって、適切な治療を受けられます。
- 2 こどもたちは、みずからの健康に関するすべてのことについて、年齢や理解度に応じた方法で説明を受けられます。
- 3 こどもたちとその家族は、検査や治療について事前に十分な説明を受け、納得したうえで診療を受けられます。
- 4 こどもたちは、いつでも安心して治療が受けられるような環境のなかで、安全な痛みの少ない治療を受けられます。
- 5 家族はこどもたちの治療に積極的に参加することができます。
- 6 こどもたちは、年齢や病状にあった遊びやレクリエーションを提供され、教育を受けられます。
- 7 こどもたちとその家族のプライバシーはいつでも守られます。

INDEX

病棟案内	2
施設概要	6
組織図	7

理事長・院長・副院長	8
新生児科	9
総合診療科	10
消化器科	10
アレルギー科	11
リウマチ・感染症科	11
腎臓内科	12
血液腫瘍科	12
循環器科	13
神経科	14
外科	15
心臓血管外科	15
脳神経外科	16
整形外科	16
形成外科	17
泌尿器科	17
産科	18
歯科口腔外科・矯正歯科	18
リハビリテーション科	19
発達診療科	19
放射線科	19
麻酔科	20
集中治療科	20
臨床病理科	21
眼科／内分泌科／ 耳鼻いんこう科／児童精神科	21
循環器センター	21
救急医療	22
地域医療連携	23
患者さん紹介方法	24
登録医療機関について	26
診療案内(担当表)	32
短期入所サービス	33

病棟案内

本館



1F 総合案内



1F 外来受付



1F まほうの広場



1F おひさまラウンジ



1F 放射線・生理検査受付



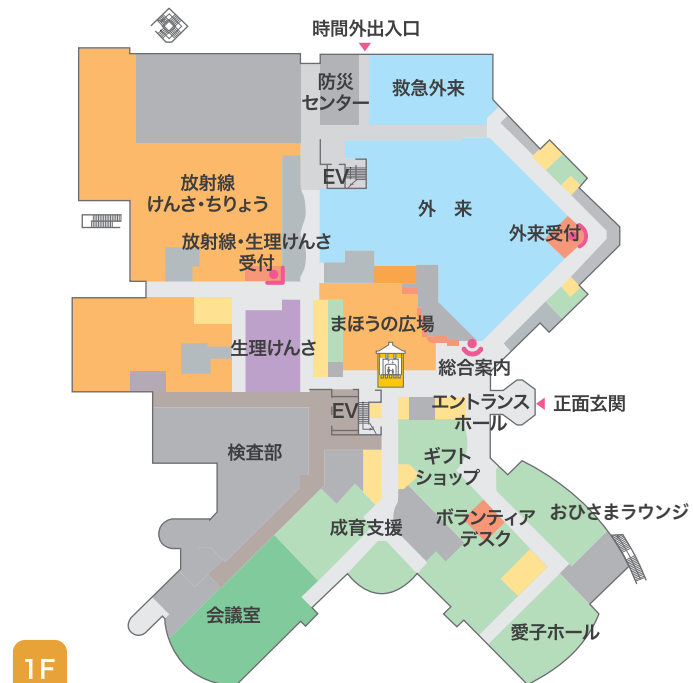
1F 外来処置室



1F 救急処置室



2F



1F



2F 本館2階病棟



2F 本館2階病室



2F ファミリールーム



2F 中央材料滅菌室



2F 薬剤部



1F ギフトショップ(売店)



1F 入退院センター



1F こども図書館



1F 栄養相談室



3F 新生児中等症治療室 (GCU・HCU)



3F 新生児集中治療室 (NICU)



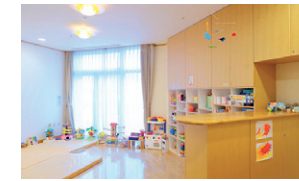
3F LDルーム



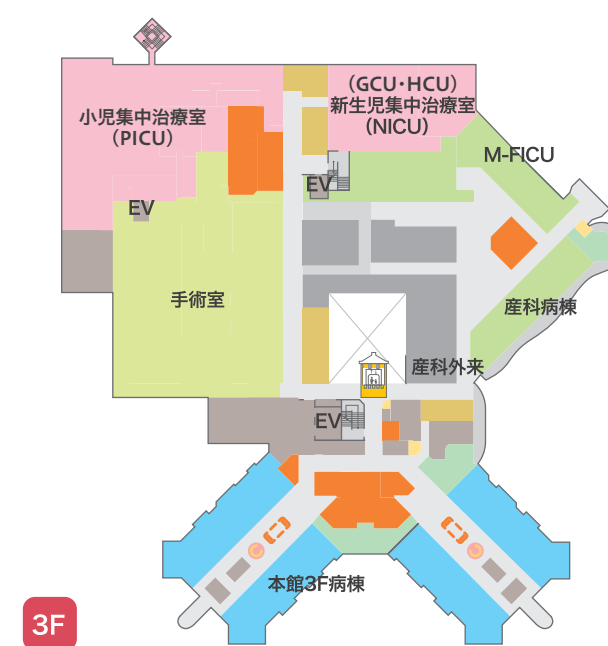
3F 産科病棟
スタッフステーション



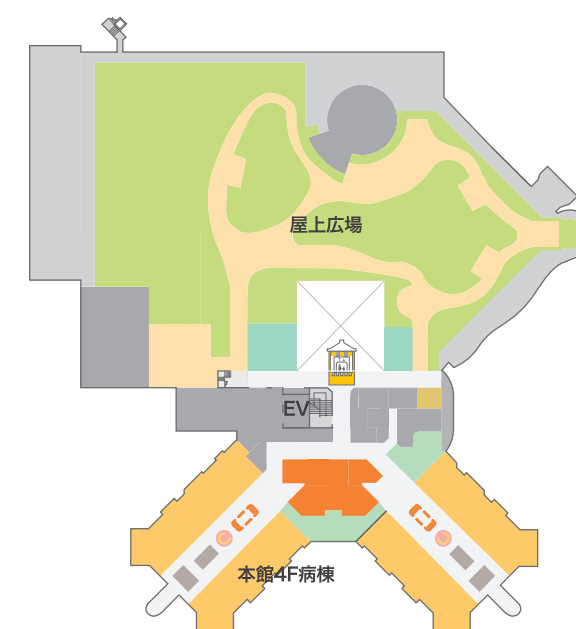
3F 手術室



3F プレイルーム



3F



4F



4F 屋上広場



4F テイルーム・食堂

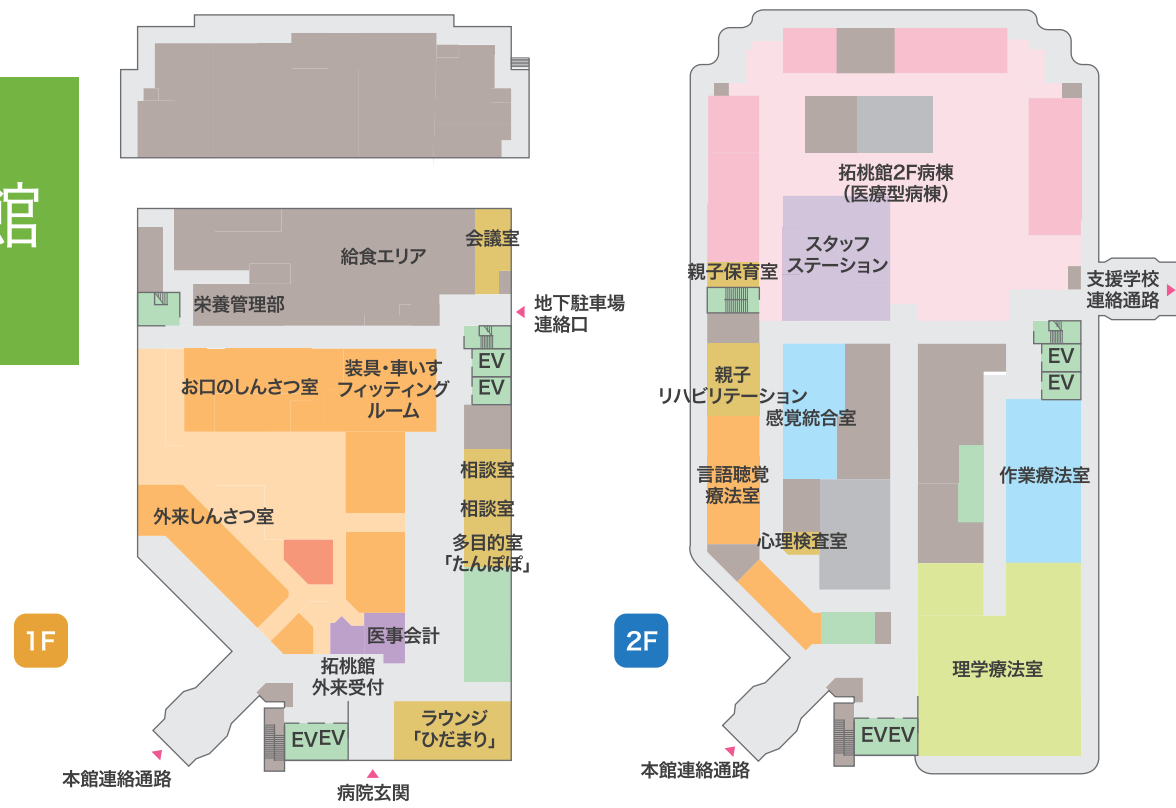


4F 本館4階病棟



4F 本館4階病室

拓桃館



3F 浴室



3F 保育室



3F 多目的ホール「たくとう広場」



3F 拓桃館3階病棟



3F 理髪室



屋上 ヘリポート



1F 診察室



2F デイルーム・食堂



2F 理学療法室



1F 拓桃館外来受付



1F お口の診察室



2F 作業療法室



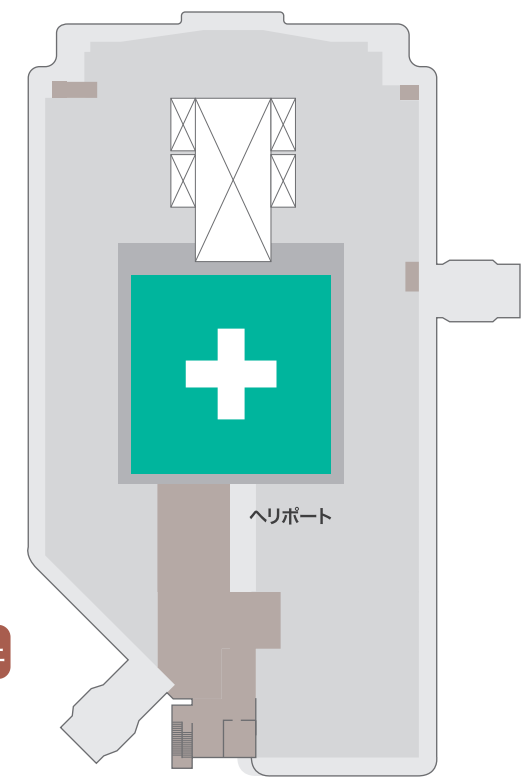
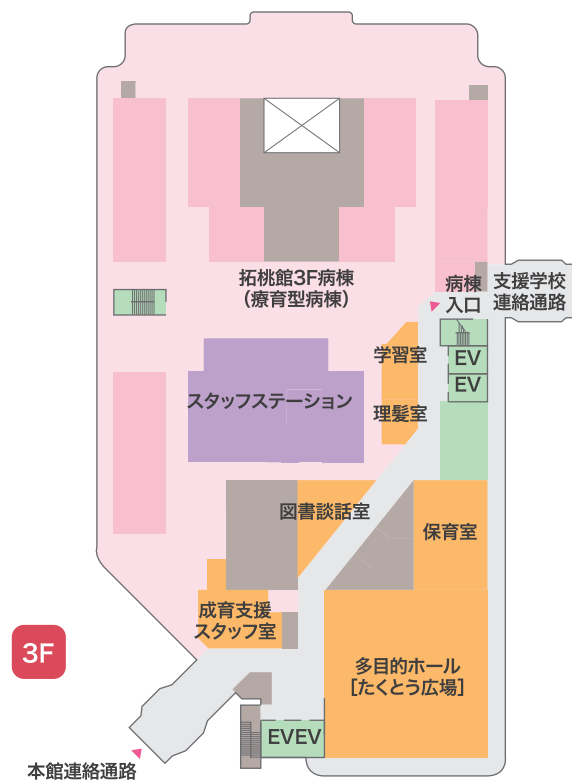
1F 医事会計・診察待合室



1F ラウンジ「ひだまり」



2F 親子入所室

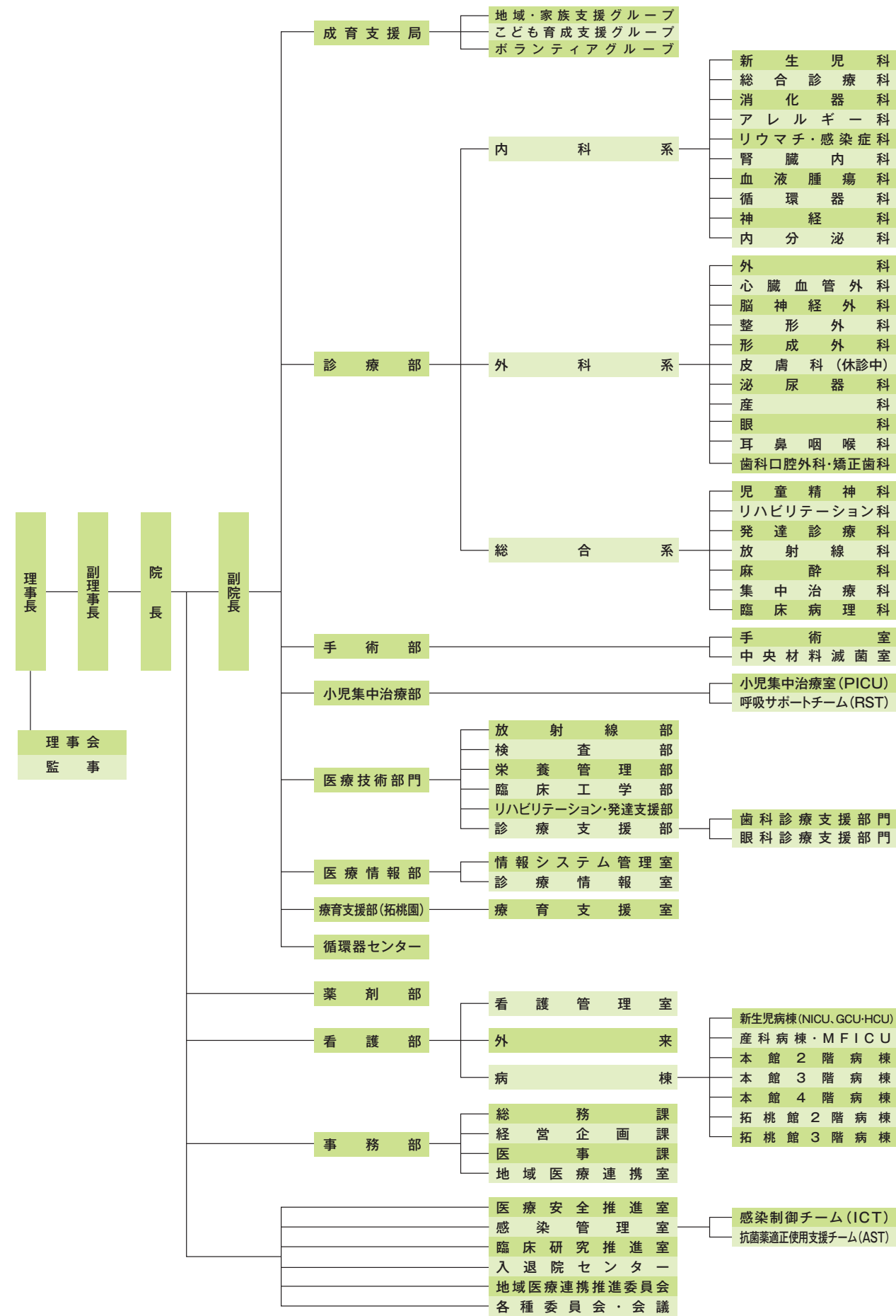


施設概要

開 設 者	地方独立行政法人宮城県立こども病院 理事長 今泉 益栄				
病 院 名	宮城県立こども病院 (児童福祉施設 / 宮城県立拓桃園)				
敷地面積	47,854.4㎡				
構造概要	本 館	鉄筋コンクリート造、地上4階建（免震構造）			
	拓桃館	鉄筋コンクリート造、地上4階建（免震構造）			
延床面積	26,972.94㎡				
	内 訳	本 館	18,030.44㎡		
		拓桃館	8,942.50㎡		
病 床 数	10 病棟 241 床				
	本 館 160 床	PICU		8 床	
		新生児病棟	NICU		12 床
			GCU・HCU		15 床
		MFICU		6 床	
		産科病棟		12 床	
		本館2階病棟		35 床	
		本館3階病棟		36 床	
		本館4階病棟		36 床	
	拓桃館 81 床	拓桃館2階病棟		27 床	
		拓桃館3階病棟		54 床	



地方独立行政法人宮城県立こども病院 組織図



理事長・院長・副院長



今泉 益栄 いまい ますえ

【職名】
理事長・院長特別補佐

【診療・専門領域】
小児科学、小児血液腫瘍学

【資格等】
日本小児科学会専門医・指導医
日本血液学会専門医・指導医
日本造血・免疫細胞療法学会
造血細胞移植認定医



呉 繁夫 くれ しげお

【職名】
院長

【診療・専門領域】
臨床遺伝・先天代謝異常

【資格等】
小児科専門医(日本専門医機構)・指導医
臨床遺伝専門医(日本人類遺伝学会)・指導医
東北大学名誉教授



白根 礼造 しらね れいぞう

【職名】
副院長 兼 診療部長 兼 医療情報部長 兼 医療技術部門長(眼科診療支援部門担当) 兼 診療情報室長 兼 入退院センター長

【診療・専門領域】
小児脳神経外科、脳血管障害、脳腫瘍

【資格等】
日本脳神経外科学会専門医
日本小児神経外科認定医
東北大学客員教授



萩野谷 和裕 はぎのや かずひろ

【職名】
副院長 兼 療育支援部長 兼 神経科科長 兼 医療安全推進室長 兼 医療技術部門長(リハビリテーション・発達支援部担当)

【診療・専門領域】
神経科全般(てんかん・神経筋疾患・発達遅滞・脳性麻痺・発達障害)

【資格等】
日本小児科学会専門医
日本小児神経学会専門医
日本てんかん学会専門医
ボトックス研修認定
VNS研修認定
東北大学大学院医学系研究科障害科学系小児包括リハビリテーション医学分野客員教授



虻川 大樹 あぶかわ だいし

【職名】
副院長 兼 成育支援局長 兼 総合診療科科長 兼 消化器科科長 兼 地域医療連携室長 兼 臨床研究推進室長

【診療・専門領域】
小児科一般、小児消化器・肝臓病

【資格等】
東北大学医学部臨床教授
日本小児科学会専門医・認定小児科指導医
日本小児栄養消化器肝臓学会認定医
日本小児科医学会子どもの心相談医
厚生労働省臨床研修指導医



崔 禎浩 さい さだひろ

【職名】
副院長 兼 心臓血管外科科長 兼 手術部長 兼 医療技術部門長(臨床工学部担当)兼 循環器センター長

【診療・専門領域】
心臓血管外科

【資格等】
日本心臓血管外科学会専門医・修練指導医
日本外科学会専門医・指導医
東北大学医学部臨床教授・非常勤講師
東北医科薬科大学臨床教授・非常勤講師
山形大学医学部非常勤講師

新生児科

小児専門病院の新生児科として内科系、外科系(外科、心臓血管、脳神経、整形、形成、泌尿器)病的新生児の入院診療を行っています。また、宮城県周産期の2-3次医療施設として早産低出生体重児も受け入れています。内科系外科系各診療科ならびに産科との協力体制のもと診療にあたっています。高度医療としては、各種人工呼吸管理のほか、一酸化窒素吸入療法、低体温療法、低酸素療法、交換輸血、血液透析、腹膜透析、血漿交換などを行っています。

外来診療では、早産低出生体重児や成長発達に心配のある新生児、乳児のフォローアップをしています。乳幼児期から学童期まで経過観察し、必要に応じて関連科に紹介、引き継ぎをしています。



渡邊 達也 わたなべ たつや

【職名】
科長 兼 医療情報部次長 兼 診療情報室長代理 兼 循環器センター

【診療・専門領域】
新生児、一般小児

【資格等】
日本小児科学会専門医・指導医
日本周産期・新生児医学会専門医(新生児)・指導医
出生前コンサルト小児科医



内田 俊彦うちだ としひこ

【職名】
部長

【診療・専門領域】
新生児

【資格等】
日本小児科学会専門医・指導医
日本周産期・新生児医学会専門医(新生児)・指導医
診療情報管理士



高梨 愛佳 たかなし あいか

【職名】
医師

【診療・専門領域】

【資格等】



熊坂 衣織 くまざき いお

【職名】
医師(フェロー)

【診療・専門領域】
新生児、一般小児

【資格等】
日本小児科学会専門医



武蔵 亮志 むさし たかゆき

【職名】
医師(フェロー)

【診療・専門領域】

【資格等】



頓所 滉平 とんしょ こうへい

【職名】
後期研修医

【診療・専門領域】

【資格等】



齋藤 潤子 さいとう じゅんこ

【職名】
非常勤医師

【診療・専門領域】
小児科・新生児医療全般

【資格等】
日本小児科学会専門医

総合診療科

総合診療科は、病院の新患窓口として紹介患者の対応と振り分け、小児一般疾患および救急疾患の診療、先天異常など専門科に振り分けにくい患者さんの主治医、各専門科間のコーディネーターとしての役割、在宅医療を要する患者さんの外来フォローおよび入院治療を担っています。新患外来ではスタッフが分担して多様な新患に対応しています。また、総合診療科内の

4つの専門診療科が、他の医療機関では対応の難しい重症例を中心にお引き受けし、高度で専門的な治療・検査を行っています。先天異常や遺伝性疾患を対象とした遺伝外来も開設しています。感染症や川崎病などの救急疾患は随時お引き受けします。重症例や専門領域に限らず、お気軽にご相談ください。

消化器科

当科は東北地方における小児消化器診療の拠点として宮城県内外から多数の症例をご紹介いただいております。2022年度には消化管内視鏡検査・治療を計257件(上部112件、大腸51件、ダブルバルーン小腸内視鏡54件、カプセル小腸内視鏡14件、治療・処置26件)、経皮的肝生検を7件行いました。炎症性腸

疾患の新患が多く紹介され、専門的な検査・治療を提供しています。他にも消化管出血、急性・慢性腹痛、便秘・下痢、肝胆膵疾患、体重増加不良、肥満症といった消化器・栄養に関わる患者を多数診療していますので、お気軽に当院へご相談ください。



蛇川 大樹
あぶかわ だいすけ

【職名】
副院長 兼 成育支援局長 兼 科長 兼 地域医療連携室長 兼 臨床研究推進室長
【診療・専門領域】
小児科一般、小児消化器・肝臓病
【資格等】
東北大学医学部臨床教授、日本小児科学会専門医・認定小児科指導医、日本小児栄養消化器肝臓学会認定医、日本小児科医学会子どもの心相談医、厚生労働省臨床研修指導医



角田 文彦
かくた ふみひこ

【職名】
部長 兼 医療技術副部門長(栄養管理部担当)
【診療・専門領域】
総合診療・消化器
【資格等】
日本小児科学会専門医・指導医
日本小児栄養消化器肝臓学会認定医
厚生労働省臨床研修指導医
日本臨床栄養学会認定臨床栄養医



星 雄介
ほし ゆうすけ

【職名】
医長
【診療・専門領域】
総合診療・消化器
【資格等】
日本小児科学会専門医
日本小児栄養消化器肝臓学会認定医



篠崎 まみ
しのざき まみ

【職名】
医師(フェロー)
【診療・専門領域】
総合診療・消化器
【資格等】
日本小児科学会専門医



成重 勇太
なりしげ ゆうた

【職名】
医師(フェロー)
【診療・専門領域】
総合診療・消化器
【資格等】
日本小児科学会専門医



三浦 克志
みうら かつし

【職名】
科長 兼 総合診療科部長
【診療・専門領域】
アレルギー科・小児科
【資格等】
東北大学臨床准教授、日本小児科学会専門医・指導医、日本アレルギー学会専門医・指導医、厚生労働省臨床研修指導医



秋 はるか
あき はるか

【職名】
医長
【診療・専門領域】
アレルギー科・小児科
【資格等】
日本小児科学会専門医
日本アレルギー学会専門医



山口 祐樹
やまぐち ゆうき

【職名】
医師(フェロー)
【診療・専門領域】
アレルギー科・小児科
【資格等】
日本小児科学会専門医



堀野 智史
ほりの さとし

【職名】
部長
【診療・専門領域】
アレルギー科・小児科
【資格等】
日本小児科学会専門医・指導医
日本アレルギー学会専門医・指導医
厚生労働省臨床研修指導医



宮林 広樹
みやばやし ひろき

【職名】
医師(フェロー)
【診療・専門領域】
アレルギー科・小児科
【資格等】
日本小児科学会専門医

アレルギー科

アレルギー疾患対策基本法に基づく宮城県のアレルギー疾患医療拠点病院として、小児アレルギー疾患全般に対して、検査、治療、患者指導等を行っています。また、県内唯一の日本アレルギー学会認定アレルギー専門医教育研修施設となっています。①食物アレルギー患者に対する食物経口負荷試験(約1,000例/年)や経口免疫療法(経口減感作療法)(約300例)に

取り組んでいます。②重症や難治のアトピー性皮膚炎や気管支喘息患者の治療入院とコントロール目的の教育入院を行っています。③アレルギー性鼻炎の舌下免疫療法を行っています。④食物蛋白誘発胃腸症に関しては消化器科と連携して診断・治療にあたっています。

リウマチ・感染症科

小児リウマチ性疾患と小児感染症の2つの領域を専門としています。

それぞれの主な疾患は若年性特発性関節炎、全身性エリテマトーデス、高安動脈炎などの血管炎症候群、PFAPAなどの周期性発熱症候群、および難治性感染症や免疫不全その他の基礎疾患をもつ患者に合併した感染症などです。感染症領域で

は各診療科から1年間で300件を超える感染症に関する症例のコンサルテーションを受け、適宜介入を行っています。また、ICT(Infection Control Team)やAST(Antimicrobial Stewardship Team)として、院内で発生した感染症事案に対しての介入、各部署への環境ラウンド、抗菌薬適正使用に向けた介入など、感染管理業務も行っています。



梅林 宏明
うめばやし ひろあき

【職名】
科長 兼 総合診療科部長 兼 入退院センター副センター長
【診療・専門領域】
小児リウマチ性疾患
【資格等】
日本小児科学会専門医・指導医、日本リウマチ学会専門医・指導医、ICD(infection control doctor)



桜井 博毅
さくらい ひろき

【職名】
部長 兼 感染管理室長
【診療・専門領域】
小児感染症
【資格等】
日本小児科学会専門医
日本小児感染症学会専門医・暫定指導医
ICD(infection control doctor)



齋藤 秀嘉
さいとう ひでか

【職名】
医師
【診療・専門領域】
小児リウマチ性疾患
【資格等】
日本小児科学会専門医



谷河 翠
たにかわ みどり

【職名】
医師 兼 感染管理室
【診療・専門領域】
小児感染症
【資格等】
日本小児科学会専門医
ICD(infection control doctor)

循環器科

先天性疾患を主として、胎児・新生児期から学童期の患者さんの循環器に関する疾患すべてを診療の対象としています。東北唯一の小児専門施設として、『こどもに優しい医療』を目指し、特に入院中は栄養指導やフロア専属の保育士についてもらうなど、入院中の不安ストレスに配慮しています。診療面では、心臓外科と協力しより良好な手術成績を目標に、高い診断率

を誇る胎児エコー検査や侵襲度の低いカテーテル治療を積極的に行っています。小児では東北唯一のカテーテル心房中隔欠損閉鎖術の認定施設であり、また胎児心臓超音波検査専門施設でもあります。加えて小児循環器専門医修練施設として、研修指導を行いつつ診療する体制となっています。



小澤 晃
おざわ あきら

【職名】
科長 兼 循環器センター副センター長
【診療・専門領域】
小児循環器
【資格等】
日本小児科学会専門医
日本小児循環器学会専門医



木村 正人
きむら まさと

【職名】
部長 兼 循環器センター
【診療・専門領域】
小児循環器
【資格等】
日本小児科学会専門医・指導医
日本小児循環器学会専門医・評議員
日本胎児心臓病学会胎児心エコー認証医



新田 恩
にった めぐみ

【職名】
部長
【診療・専門領域】
小児循環器
【資格等】
日本小児科学会専門医・指導医
日本小児循環器学会専門医、小児救急SIメンバー
厚生労働省臨床研修指導医



川合 英一郎
かわい えいいちろう

【職名】
部長 兼 循環器センター
【診療・専門領域】
小児循環器
【資格等】
日本小児科学会専門医
日本小児循環器学会専門医
厚生労働省臨床研修指導医



大軒 健彦
おおのき たけひこ

【職名】
部長
【診療・専門領域】
小児循環器
【資格等】
日本小児科学会専門医
厚生労働省臨床研修指導医



黒田 薫
くろだ かおる

【職名】
医師(フェロー)
【診療・専門領域】
小児循環器
【資格等】
日本小児科学会専門医



八木 耕平
やぎ こうへい

【職名】
医師(フェロー)
【診療・専門領域】
小児循環器
【資格等】



佐藤 優真
さとう ゆうま

【職名】
後期研修医
【診療・専門領域】
【資格等】

腎臓内科

学校検尿などの検尿異常の精査から腎尿路異常、腎炎・ネフローゼ、急性・慢性腎不全の管理、各種急性血液浄化、腹膜透析まで小児腎疾患の治療のほぼ全てを行っています。

検尿異常については超音波検査を含めた精査を初診時から行っています。腎炎、ネフローゼの患者様については各種画像

検査、腎生検を積極的に行っています。腎不全については出生時から透析などの対応が可能です。小児に対する体外循環による急性血液浄化は全国でも有数の施行数があります。腎尿路異常については膀胱造影など各種画像検査にて診断を行うと共に、腎機能障害を合併した症例についても対応しています。



稲垣 徹史
いながき てつし

【職名】
科長 兼 総合診療科部長
【診療・専門領域】
小児腎臓病学
【資格等】



木越 隆晶
きごし たかあき

【職名】
医長
【診療・専門領域】
小児腎臓病学
【資格等】
日本小児科学会専門医
日本腎臓学会 腎臓専門医

血液腫瘍科

血液腫瘍科は、東北大学小児科と緊密な診療連携体制のもと、小児がんや血液疾患の診療を高校生も対象に行っており、2023年3月末まで89例の造血幹細胞移植実績があります。また血友病専門外来や造血幹細胞移植後フォローアップ外来を行い、専門領域のきめ細かな診療も行っています。当科では長期入院となる患者さんも多く、支援学校の先生方や保育士、チャイ

ルド・ライフ・スペシャリスト、子ども療養支援士、臨床心理士、ソーシャルワーカーなど成育支援局スタッフとの連携を大切にしながらチーム医療を実践しています。当院は東北大学大学院医学研究科連携講座を開講しており、血液腫瘍科の大学院生として研究もできます。またセカンドオピニオンにも対応しています。



今泉 益栄
いまいずみ ますえ

【職名】
理事長・院長特別補佐
【診療・専門領域】
小児科学、小児血液腫瘍学
【資格等】
日本小児科学会専門医・指導医
日本血液学会専門医・指導医
日本造血・免疫細胞療法学会 造血細胞移植認定医



佐藤 篤
さとう あつし

【職名】
科長 兼 医療技術部門長(検査担当) 兼 臨床研究推進室副室長 兼 医療安全推進室副室長
【診療・専門領域】
小児血液・腫瘍分野
【資格等】
日本小児科学会専門医・指導医、日本血液学会専門医・指導医、日本小児血液・がん学会専門医・指導医、日本がん治療認定医機構 がん治療認定医、日本造血・免疫細胞療法学会 造血細胞移植認定医



力石 健
りきいし たけし

【職名】
部長
【診療・専門領域】
小児血液・腫瘍分野
【資格等】
日本小児科学会専門医・指導医
日本血液学会専門医
日本小児血液・がん学会専門医



小沼 正栄
おぬま まさえい

【職名】
部長
【診療・専門領域】
小児血液・腫瘍分野
【資格等】



南條 由佳
なんじょう ゆか

【職名】
部長
【診療・専門領域】
小児血液・腫瘍分野
【資格等】
日本小児科学会専門医・指導医、日本血液学会専門医、日本小児血液・がん学会専門医、日本造血・免疫細胞療法学会 造血細胞移植認定医



佐藤 幸恵
さとう ゆきえ

【職名】
医師(フェロー)
【診療・専門領域】
【資格等】

外科

当科は日本小児外科学会認定施設の1つであり、4人体制で年間入院350例、手術300例程度の診療を行っています。取り扱う疾患は小児外科的疾患一般です。通常の外来は、月曜・火曜の午前と木曜午前・午後です。県内小児外科施設と調整は

行っていますが、基本的に救急・待機症例とも随時対応しています。これからも小児外科領域から、先生方のお役に立てるよう精進していきたいと思っています。



遠藤 尚文
えんどう なおふみ

【職名】
科長 兼 医療技術部門長(栄養管理担当)
【診療・専門領域】
小児外科一般
【資格等】
日本小児外科学会専門医・指導医
日本外科学会専門医



西 功太郎
にし こうたろう

【職名】
部長
【診療・専門領域】
小児外科一般
【資格等】
日本小児外科学会専門医
日本外科学会専門医



遠藤 悠紀
えんどう ゆうき

【職名】
医長
【診療・専門領域】
小児外科一般
【資格等】
日本外科学会 外科専門医
日本肝臓学会 肝臓専門医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医



中島 雄大
なかじま ゆうだい

【職名】
医師(フェロー)
【診療・専門領域】
小児外科一般
【資格等】
日本外科学会 外科専門医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医

心臓血管外科

小児の心臓血管外科は心臓の先天的な病気に対する手術が診療の中心になります。

心疾患の手術にあたっては、患者さん一人ひとりに合わせて適切な時期に適切な手術を行うことが大切です。

心臓血管外科開設後、心臓血管外科、麻酔科医、集中治療医、臨床工学技士、看護師、関連部署と良く連携したチームを作って

診療にあたり、2022年からは循環器センターが開設されその組織基盤をさらに強くしています。東北初のこども病院としてできるだけ多くの患者さんを受け入れており、他県からの紹介も年々多くなり手術数も安定しています。生まれつき心臓に病気を抱った子どもたちがそれぞれに元気で楽しい人生が送れるよう努力しています。



崔 禎浩
さい ちんこう

【職名】
副院長 兼 科長 兼 手術部長 兼 医療技術部門長(臨床工学部担当)兼 循環器センター長
【診療・専門領域】
心臓血管外科
【資格等】
日本心臓血管外科学会専門医・修練指導医、日本外科学会専門医・指導医、東北大学医学部臨床教授・非常勤講師、東北医科薬科大学臨床教授・非常勤講師、山形大学医学部非常勤講師



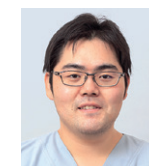
帯刀 英樹
たてわき ひでき

【職名】
部長 兼 循環器センター
【診療・専門領域】
心臓血管外科
【資格等】
日本心臓血管外科学会専門医・修練指導医、日本外科学会専門医、日本成人先天性心疾患学会専門医、小児用補助人工心臓実施医、植込み型補助人工心臓実施医、ECFMG certification



正木 直樹
まさき なおき

【職名】
部長
【診療・専門領域】
心臓血管外科
【資格等】
日本心臓血管外科学会専門医
日本外科学会専門医



落合 智徳
おちあい とものり

【職名】
医師(フェロー)
【診療・専門領域】
心臓血管外科
【資格等】
日本外科学会専門医



熊江 優
くまへ まさる

【職名】
医師(フェロー)
【診療・専門領域】
心臓血管外科
【資格等】
日本外科学会専門医

神経科

発達障害全般に対する医療および療育、発作性疾患・神経感染症などの急性および慢性疾患の治療、希少難病の診断・治療が大きな三本柱になっています。神経科単独の患者さんの他に関連各科での包括的な医療を求めて来院する患者さんが多いのも特徴です。自閉症、ADHD、知的障害、運動発達遅滞、脳性麻痺、てんかん、チック、急性脳炎・脳症、染色体異常症、

奇形症候群、神経皮膚症候群、頭痛、末梢神経障害・筋ジストロフィー等の神経筋疾患、原因不明の希少難病等に対応しています。また、亜急性期から慢性期の中途障害の方のリハビリ、親子入院による発達遅滞、脳性麻痺、摂食障害への集中リハビリを実施しています。



萩野谷 和裕
はぎのや かずひろ

【職名】
副院長 兼 療育支援部長 兼 科長 兼 医療安全推進室長
【診療・専門領域】
神経科全般(てんかん・神経筋疾患・発達遅滞・脳性麻痺・発達障害)
【資格等】
日本小児科学会専門医、日本小児神経学会専門医、日本てんかん学会専門医、ボトックス研修認定、VNS研修認定、東北大学大学院医学系研究科障害科学系小児包括リハビリテーション医学分野客員教授



富樫 紀子
とがし のりこ

【職名】
科長
【診療・専門領域】
小児神経科全般
【資格等】
日本小児科学会専門医



乾 健彦
いぬい たけひこ

【職名】
部長 兼 療育支援室
【診療・専門領域】
小児神経科全般
【資格等】
日本小児科学会専門医
日本小児神経学会専門医
日本てんかん学会専門医



遠藤 若葉
えんどう わかば

【職名】
部長
【診療・専門領域】
小児神経科全般
【資格等】
日本小児科学会専門医
日本小児神経学会専門医



川嶋 有朋
かわしま ありとも

【職名】
医長
【診療・専門領域】
小児神経科全般
【資格等】
日本小児科学会専門医



堅田 有宇
かた た ゆう

【職名】
医長
【診療・専門領域】
小児神経科全般
【資格等】
日本小児科学会専門医
日本小児神経学会専門医



児玉 香織
こだま かおり

【職名】
医長
【診療・専門領域】
小児神経科全般
【資格等】
日本小児科学会専門医



中村 春彦
なかむら はるひこ

【職名】
医師(フェロー)
【診療・専門領域】
小児神経科全般
【資格等】
日本小児科学会専門医

脳神経外科

東北地方で唯一の小児脳神経外科専門施設として脳血管疾患、特にもやもや病、二分脊椎、水頭症、頭蓋縫合異常を含む頭蓋変形、脳腫瘍、など小児の脳神経外科疾患を広く診療しています。院内他科および東北大学病院関連施設と連携し治療困難な疾患にも精力的に取り組んでおり、手術は可能な限り

患者さん本人の負担を小さくすることを心がけています。また、術後は患者さんの不安、疼痛を取り除くとともに、患者さんとそのご家族が早期に日常生活に戻れるように心がけています。他院での診断、治療に迷う場合には、セカンドオピニオンも積極的に受け入れておりますので、いつでもご相談ください。



林 俊哲
はやし としあき

【職名】
科長
【診療・専門領域】
小児神経外科全般、脳血管障害の外科、頭部外傷、良性脳腫瘍
【資格等】
日本脳神経外科学会専門医・指導医、日本脳卒中の外科学会指導医、日本神経内視鏡学会技術認定医、日本小児神経外科学会認定医、厚生労働省臨床研修指導医、東北大学発達神経外科学教授、東北医科薬科大学臨床教授



水野 敬悟
みずの けいご

【職名】
医師（フェロー）
【診療・専門領域】
【資格等】

整形外科

整形外科は小児の運動器疾患を対象にした外科系診療科で、県内唯一の小児整形外科専門施設です。手術を治療の柱として診療していますが、ギプスや装具などによる保存的な治療が多いことも特徴です。

先天性内反足へのボンセッティ法、先天性股関節脱臼へのリーメンビューゲル法など代表的な小児整形外科疾患に加えて、ペルテス病や足部・下肢変形への装具療法、股関節・足部変形

への矯正手術、さらに創外固定を用いた骨延長術やボトックス治療など比較的新しい技術を導入し難しい疾患への治療も行っています。

日本整形外科学会研修認定施設、日本リハビリテーション医学会研修施設に認定されており、専門医・指導医による専門研修を行っています。



落合 達宏
おちあい たつひろ

【職名】
科長 兼 療育支援室長
【診療・専門領域】
小児整形外科・小児リハビリテーション科
【資格等】
東北大学医学部 非常勤講師・臨床教授、東北医科薬科大学医学部 非常勤講師・臨床教授、日本整形外科学会専門医・指導医、日本リハビリテーション医学会専門医・指導医



水野 稚香
みずの ちか

【職名】
部長
【診療・専門領域】
小児整形外科・小児リハビリテーション科
【資格等】
日本整形外科学会専門医・指導医・リウマチ認定医
日本リハビリテーション医学会専門医・指導医
産業医



小松 繁允
こまつ しげまさ

【職名】
医長
【診療・専門領域】
小児整形外科・小児リハビリテーション科
【資格等】
日本整形外科学会専門医
日本リハビリテーション医学会専門医



室谷 幹
むろたに もとき

【職名】
医師（フェロー）
【診療・専門領域】
【資格等】

形成外科

宮城県立こども病院形成外科では、小児に必要とされる形成外科診療のほとんどを行なっています。小児医療における各分野の専門家と連携しながら診療を行うことができるため、頭蓋顔面の複雑な先天異常や、合併症を有する患者さんの診療を円滑に行うことができます。

口唇口蓋裂、耳介や外鼻、眼瞼などの顔面の先天性、後天性

の変形。手の先天異常、バネ指や熱傷後遺症などの後天性変形。臍など軀幹の変形。多趾症、合趾症などの足趾の先天異常。皮膚・皮下腫瘍、母斑、血管腫、癬瘻・癬瘻拘縮、などの皮膚外科疾患。このような疾患を対象に、薬物やレーザーによる治療を取り入れながら、主として手術による治療を行っています。



真田 武彦
さなだ たけひこ

【職名】
科長
【診療・専門領域】
小児形成外科全般
【資格等】
日本形成外科学会専門医
日本形成外科学会小児形成外科分野指導医



浅野 裕香
あさの ゆうか

【職名】
部長
【診療・専門領域】
小児形成外科全般
【資格等】



南 大輝
みなみ だいき

【職名】
後期研修医
【診療・専門領域】
【資格等】

泌尿器科

先天性腎尿路異常（膀胱尿管逆流、先天性水腎症 など）、二分脊椎にともなう膀胱機能障害、性分化疾患、停留精巣、陰嚢水腫、尿道下裂、包茎、尿路結石などに対応しています。これらは将来、腎機能、排泄機能、性機能など成人QOLに直結する疾患であり、小児期における適切な対応が将来のアウトカムに大きく影響します。常勤の坂井、相野谷、城之前、久保田、武田の5名で

診療にあたります。複数の合併症を抱えた患者さんにおいては、他科・他職種との連携は非常に重要で、院内外の小児医療関係者の方々には日頃より大変お世話になっております。今後も診断・治療の質を向上させていくよう努めていきたいと思います。



坂井 清英
さかい きよひで

【職名】
科長
【診療・専門領域】
泌尿器科・小児泌尿器科
【資格等】
日本泌尿器科学会専門医・指導医、日本腎臓学会専門医・指導医、日本小児泌尿器科学会認定医、東北大学医学部臨床教授、東北医科薬科大学医学部臨床教授、弘前大学医学部非常勤講師



相野谷 慶子
あいのや けいこ

【職名】
部長
【診療・専門領域】
泌尿器科・小児泌尿器科
【資格等】
日本泌尿器科学会専門医・指導医
日本小児泌尿器科学会認定医



城之前 翼
しろのまえ つばさ

【職名】
医長
【診療・専門領域】
小児外科・小児泌尿器科
【資格等】
日本外科学会外科専門医、日本小児外科学会専門医、日本小児泌尿器科学会認定医、厚生労働省臨床研修指導医、緩和ケア研修修了



久保田 優花
くぼた ゆうか

【職名】
医師
【診療・専門領域】
泌尿器科・小児泌尿器科
【資格等】
日本泌尿器科学会専門医、日本外科学会外科専門医
緩和ケア研修修了、BLS・ACLS



武田 詩奈子
たけだ しなこ

【職名】
医師
【診療・専門領域】
泌尿器科・小児泌尿器科
【資格等】
日本泌尿器科学会専門医
緩和ケア研修修了

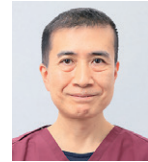
産科

当院は地域周産期母子医療センターの指定を受け、産科もMFICU(母体胎児集中治療室)を6床もちます。出生前診断、胎児治療、遺伝子診療を専門とし、胎児診断や胎児手術は東



室月 淳
むろつき しゅん

【職名】
科長 兼 循環器センター
【診療・専門領域】
周産期学、超音波医学、臨床遺伝学
【資格等】
日本産科婦人科学会専門医・指導医、日本周産期・新生児医学会専門医・指導医(母体・胎児)、日本超音波医学会専門医・指導医、日本人類遺伝学会臨床遺伝専門医・指導医



宮下 進
みやした すずむ

【職名】
部長
【診療・専門領域】
周産期医学、超音波医学、新生児医学、臨床遺伝学
【資格等】
日本産科婦人科学会専門医・指導医、日本周産期・新生児医学会専門医・指導医(新生児)、日本周産期・新生児医学会専門医・指導医(母体・胎児)、日本超音波医学会専門医・指導医、日本人類遺伝学会臨床遺伝専門医、日本胎児心臓病学会胎児心エコー認証医、厚生労働省臨床研修指導医



石川 源
いしかわ げん

【職名】
部長
【診療・専門領域】
【資格等】
日本産科婦人科学会専門医・指導医、日本周産期・新生児医学会専門医(母体・胎児)、麻酔科標榜医、ICD(infection control doctor)、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、国際緊急援助医療チーム登録医、ローカルDMAT研修履修済(2017年千葉県)



今井 紀昭
いまい のりあき

【職名】
部長
【診療・専門領域】
周産期医学、産婦人科一般
【資格等】
日本産科婦人科学会専門医・指導医、日本周産期新生児医学会専門医・指導医(母体・胎児)、日本産婦人科内視鏡学会腹腔鏡技術認定医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、厚生労働省臨床研修指導医



田上 和磨
たがみ かずま

【職名】
医師(フェロー)
【診療・専門領域】
【資格等】

歯科口腔外科・矯正歯科

外来では全身的な病気や障害のある患者さんに対して他科や他の医療機関と連携しながら家族支援も含む包括的な歯科診療を行っています。さらに顎顔面形態や咬合状態に問題のある患者さんに対しては矯正歯科治療も行っています。

入院では全身麻酔下で自閉症や発達障害、脳性麻痺といった外来治療困難児に対する一括歯科治療や小児領域に多い粘液



御代田 浩伸
みよた ひろのぶ

【職名】
科長 兼 医療技術部門長(歯科診療支援部門担当)
【診療・専門領域】
矯正歯科・口腔外科・障害者歯科・小児歯科
【資格等】
日本矯正歯科学会認定医
厚生労働省臨床研修指導歯科医



後藤 申江
ごとう のぶえ

【職名】
部長
【診療・専門領域】
小児歯科・障害者歯科
【資格等】
日本障害者歯科学会専門医・代議員
日本小児歯科学会専門医
日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士

嚢胞や小帯異常、埋伏歯や過剰歯に関連する口腔外科手術を行っています。また他科入院中で歯科の問題がみられる患者さんに対しては、その状態に合わせて外来やベッドサイドで歯科処置や口腔衛生指導も行っています。

さらに教育としては、他施設からの研修歯科医師や衛生士実習生の臨床指導を行っています。

リハビリテーション科

当院のリハビリテーションは、神経科・発達診療科・整形外科・形成外科・歯科・集中治療科・新生児科・血液腫瘍科・循環器科・心臓血管外科・脳神経外科・総合診療科など様々な科の小児リハビリテーションを行っており、それぞれの専門分野医師と連携しながらすすめています。理学療法士・作業療法士・言語聴覚士に専門化した医療情報の伝達を行い、カンファレンス開催などを介して情報を共有し、病院診療としてのリハビリテーション水準の維持やトラブル回避などを行っています。また福祉制度について書類作成などにより関わっています。



高橋 祐子
たかはし ゆうこ

【職名】
科長 兼 医療技術部門長(リハビリテーション・発達支援部担当)
【診療・専門領域】
小児整形外科・小児リハビリテーション科
【資格等】
日本整形外科学会専門医・指導医
日本リハビリテーション医学会専門医・指導医

発達診療科

神経発達症群(自閉スペクトラム症・ADHD・限局性学習症等)の診療を中心に、発達に課題をもつ患者さんの診療にあたっています。2022年度からは特に地域連携に基づいたフォローの重点化を図っています。神経発達症に絡んだ二次障害や心身の問題、それに関わらずとも心理・精神的な問題や不登校、親子関係の問題や世代間トラウマを始めとした家庭環境や養育環境に関する問題にも対処しています。必要に応じて、心理・理学療法・作業療法・言語療法、親子並行治療も行っています。



涌澤 圭介
わくさわ けいすけ

【職名】
科長
【診療・専門領域】
小児神経
【資格等】
日本小児科学会専門医、日本小児神経学会専門医、日本小児精神神経学会認定医、子どものこころの専門医機構、子どものこころの専門医、日本小児精神神経学会代議員

放射線科

放射線科は主に画像検査・画像診断分野を担当しています。具体的にはCT・MRI・核医学などの画像検査計画の立案と指示、放射線部での超音波検査の実施、画像診断報告書の作成、臨床各科との画像カンファレンス、主治医からの画像診断に関するコンサルテーションへの対応などです。

当科は、(1)患者さん一人ひとりに対して適切な画像検査を

選択する (2)患者さんに優しく身体的負担・精神的負担の少ない検査を安全に行う (3)得られた検査結果から診断・治療に役立つ情報を可能な限り多く引き出す、の3項目を基本方針とし、主治医と緊密に連携して診療を行っています。

なお、当院では放射線治療装置も装備しており、放射線治療専門医(非常勤)の応援を得て放射線治療を行っています。



島貫 義久
しまぬき よしひさ

【職名】
科長 兼 医療技術部門長(放射線部担当)
【診療・専門領域】
小児の画像診断
【資格等】
日本医学放射線学会放射線診断専門医
日本核医学会専門医



北見 昌広
きたみ まさひろ

【職名】
部長
【診療・専門領域】
小児画像診断・胎児画像診断
【資格等】
日本医学放射線学会放射線診断専門医
日本超音波医学会専門医

麻 醉 科

当院では体重が500gに満たない未熟児から成人まで幅広い患者さんが手術や検査を受けます。私たちは対象となる全ての患者さんが安全で快適に手術や検査を受けられるように質の高い麻酔を提供しています。術前診察では全身状態の評価の他に丁寧な説明を心がけています。小児では術前の不安の解消も重要な課題です。わかりやすく説明すると同時に必要に

応じて麻酔前に鎮静薬を使用することもあります。手術中の呼吸循環などの全身管理の他、術後も痛みを和らげるために硬膜外麻酔や神経ブロック、持続の鎮痛薬投与などを行っています。また帝王切開術では胎児には麻酔がかからず母体には負担のかからない麻酔法を選択しています。



五十嵐 あゆ子
いがらし あゆこ

【職名】
科長 兼 循環器センター

【診療・専門領域】
麻酔全般

【資格等】
麻酔科標榜医
日本麻酔科学会専門医・指導医
日本小児麻酔学会認定医



井口 まり
いのくち まり

【職名】
科長

【診療・専門領域】
麻酔全般

【資格等】
麻酔科標榜医
日本麻酔科学会専門医・指導医



戸田 法子
とだ のりこ

【職名】
部長

【診療・専門領域】
麻酔全般

【資格等】
麻酔科標榜医、日本麻酔科学会認定医
日本麻酔科学会専門医・指導医
日本小児麻酔学会認定医



菊地 千歌
きくち ちか

【職名】
部長

【診療・専門領域】
麻酔全般

【資格等】
麻酔科標榜医、日本麻酔科学会認定医
日本麻酔科学会専門医・指導医
日本小児麻酔学会認定医



篠崎 友哉
しのざき ともなり

【職名】
部長

【診療・専門領域】
麻酔全般

【資格等】
麻酔科標榜医、日本麻酔科学会認定医
日本麻酔科学会専門医・指導医
日本小児麻酔学会認定医



田中 捷馬
たなか しゅうま

【職名】
医師(フェロー)

【診療・専門領域】
麻酔全般

【資格等】
麻酔科標榜医
日本周術期経食道心エコー委員会認定医

集 中 治 療 科

状態が悪い、悪化の可能性がある、貴院での対応が難しい、などの患者さんがいらっしゃいましたら、集中治療科にご連絡ください。平日日中はドクターカーによる迎え搬送も行っています。

小児集中治療室PICUには、早期産児を除く新生児から学童まで、呼吸や循環、意識、その他の臓器に急性機能不全を呈した

患者さんや、その恐れがあり綿密なモニタリングを要する患者さんが入室します。集中治療科はPICUに常駐し、重症化した原因は問わず(内因性も外因性も周術期も)救命治療と集中治療を提供します。人工呼吸や急性血液浄化、膜型人工肺ECMOを用いた呼吸循環補助など超重症小児に対する集中治療が可能です。



小泉 沢
こいずみ たく

【職名】
科長 兼 小児集中治療部長 兼 循環器センター

【診療・専門領域】
小児集中治療

【資格等】
日本集中治療医学会専門医、日本小児科学会専門医
日本呼吸療法医学会専門医
PALS instructor



小野 頼母
おの たのも

【職名】
部長

【診療・専門領域】
小児集中治療・小児循環器

【資格等】
日本小児科学会専門医、日本周術期経食道心エコー委員会認定医、ASD治療TEE認証医、SHD心エコー図認証医、医学博士、日本小児循環器学会専門医



其田 健司
そのた けんじ

【職名】
医長

【診療・専門領域】
小児集中治療

【資格等】
日本小児科学会専門医



田邊 雄大
たなべ たけひろ

【職名】
医長

【診療・専門領域】
小児集中治療・小児循環器・公衆衛生・疫学

【資格等】
日本小児科学会専門医、日本小児循環器学会専門医、日本集中治療学会専門医、公衆衛生修士、日本周術期経食道心エコー委員会認定医、SHD心エコー図認定医、JATEC instructor

臨 床 病 理 科

当科は専門医1名と、細胞検査士と認定病理検査技師の資格を持つ臨床検査技師2名で業務を行っています。一般に病理検査室で行われている検査はほぼ実施可能であり、具体的には①病理組織診断、②細胞診、③術中迅速診断、④病理解剖の4つを行っています。特に③④に関しては時間外も可能な限り対応しています。



武山 淳二
たけやま じゅんじ

【職名】
科長 兼 医療技術部門長(病理担当)

【診療・専門領域】
病理検査全般

【資格等】
日本病理学会 病理専門医
日本臨床細胞学会 細胞診専門医

眼科/内分泌科/耳鼻いんこう科/児童精神科

こども病院では、現在、眼科、内分泌科、耳鼻いんこう科、児童精神科は非常勤医師が診療しております。この4つの診療科は他科に入院、通院する患者さんに対する診療を主に行っており、

り、眼科は院外からのご紹介をお受けしていますが、内分泌科、耳鼻いんこう科、児童精神科の3診療科は、原則として院外からのご紹介はお受けしておりませんので、どうぞご了承ください。

【眼科】

こどもの視点に立った温かく良質な医療を目指し、地域医療機関との連携をとりながら、お子さん一人ひとりの将来を第一に考える眼科診療を志しています。

対象疾患

- 斜視(外斜視、内斜視などの眼位異常)
- 心身発達異常に伴う眼疾患の管理
- 代謝異常に伴う眼合併症の管理
- 網膜・視神経の先天異常
- 心因性視覚障害
- 網膜・脈絡膜変性疾患
- 未熟児網膜症
- 弱視治療
- 先天性障害 など

【内分泌科】

さまざまな内分泌異常や肥満・代謝疾患、新生児マススクリーニングで発見される先天性代謝異常症などの診療を行います。新生児、乳幼児、学童、そして思春期の成長過程におけるホルモンバランスの変化に伴う疾病に対して診療を行います。

対象疾患

- 低身長症
- ブドウ糖・ウィリー症候群
- 成長ホルモン分泌不全
- 甲状腺機能低下症
- 糖尿病
- 思春期早発症

【耳鼻いんこう科】

耳・鼻・のど・頭頸部の疾患をあつかいます。難聴が疑われる児、言語発達遅滞がある児へ言語聴覚士の先生方と協力して、聴力の評価と言語発達のフォローを行っています。口蓋裂児の診療を形成外科、歯科の先生と協力して行うと共に、新生児から幼児、学童における上気道の評価、嚥下機能の評価を内視鏡を用いて行っています。

当科領域の疾患が疑われる際にはお気軽に相談ください。

対象疾患

- 難聴
- 中耳炎
- 喘鳴、嚥声(声がれ)
- 言語発達遅滞
- 不明熱(熱源検索)
- 嚥下障害 など

【児童精神科】

身体疾患の闘病に伴う心理的問題やうつ状態・不安といった精神症状、およびストレスが関連した疾患への精神的治療について、他科と連携して診療を行っています。

対象疾患

- 適応障害
- うつ病
- 心身症
- 不安障害 など

循 環 器 セ ン タ ー

2022年4月、宮城県立こども病院循環器センターが開設されました。

循環器科、心臓血管外科、集中治療科、新生児科、産科や関連各部署の役割分担を明確にして連携体制を強化し、新たな組織基盤を設けることによって、集学的治療を実施し、重症心疾患患児のさらなる治療成績向上を目指しています。

当センターでは、生まれつき心臓に病気のある先天性心疾患の患者さんに対する内科的あるいは外科的診療が中心となります。それ以外では不整脈、肺高血圧症、川崎病に合併する心疾患や心筋炎、心筋症なども対象となります。前述のごとく出生

前診断から始まり新生児期(生後1か月以内)に手術が必要となる場合や、乳幼児期に治療介入が必要となったり学童期以降に不整脈や心不全症状が現れて初めて心臓病に気付かれ治療に至る場合等もあります。

また多くの心臓病の治療成績の向上に伴い成長し成人になっても継続的経過観察や外科治療を含めた何らかの治療介入が必要とされる患者数も激増しています。いわゆる成人先天性心疾患患者さんですが当院ではスムーズな移行期医療が実行できるように東北大学病院成人先天性心疾患外来と連携して随時紹介しています。

救急医療

当院では、小児の二次・三次救急ならびに周産期救急について常時対応しています。複数の診療科領域にわたって緊急かつ高度な処置を必要とする重篤な状態にある患者さんを受け入れるため、県内の医療機関と緊密に連携し、転院搬送に対応しています。

拓桃館屋上にはヘリポートがあり、宮城県ドクターヘリによる患者搬送を積極的に受け入れています。

また、当院大型救急車を活用して、2017年10月よりドクターカーによる院外重症患者の迎え搬送を開始しました。さらに集中治療科医師の増員とPICU8床への増床等、救急医療・集中治療体制の充実に取り組んでいます。

【基本方針】

- ①当院は宮城県の周産期・小児医療システムにおいて三次救急医療を担っており、主に二次救急医療機関では対応できない複数の診療科領域にわたる重篤な救急患者の転送を24時間体制で受け入れ、高度専門医療を提供する。
- ②母体搬送については、原則として母体側のハイリスク要因を持たない患者を受け入れる。
- ③母体搬送または新生児搬送される低出生体重児等は、仙台赤十字病院、東北大学病院と役割を分担して受け入れる。
- ④新生児及び小児の外科的疾患については、東北大学病院、仙台赤十字病院等と役割を分担して受け入れる。
- ⑤二次救急については、仙台市小児科病院群輪番制（土・日・祝休日の日勤帯）に参加、協力する。また、地域医療機関及び一次救急施設からの二次転送は、昼夜を問わず可能な限り受け入れる。
- ⑥一次救急については、休日当番医及び休日夜間急患センターで対処してもらうことを原則とし、電話での問い合わせにはその旨を説明する。ただし、直接来院した患者及び当院で加療・通院中の患者については対応する。
- ⑦外傷は原則として扱わないが、該当診療科医師に確認して、対応可能であれば受け入れる。



救急車



屋上ヘリポート

地域医療連携

当院の外来診療は紹介予約制をとらせていただき、地域の医療機関と連携しながら、患者さんやご家族の方が継続した医療・療育を速やかに受けられるよう努めております。ご紹介時のご連絡は地域医療連携室までお願いいたします。

地域医療連携室

住 所 〒989-3126 宮城県仙台市青葉区落合四丁目3番17号

T E L 022-391-5115 (医療機関専用／直通) **F A X** 022-391-5120 (直通)

受 付 時 間 平日8時30分～17時00分

救急患者さんや時間外の患者さんのご紹介、または日中に担当医に直接電話する必要がある場合は病院代表までご連絡ください。

病院代表電話番号 022-391-5111 (オペレーター対応)

セカンドオピニオンについて

他の医療機関で治療を受けている患者さんを対象に、当院の専門医が現在受診されているかかりつけ医療機関の主治医からの診療情報提供書や検査データなどをもとに助言を行い、患者さんがより良い治療を受けることができるよう支援するものです。詳細は当院ホームページをご覧ください。お問い合わせください。

U R L https://www.miyagi-children.or.jp/outpatient/second_opinion
ホーム ➡ 医療機関の方へ ➡ セカンドオピニオン

受 付 時 間 平日9時00分～16時00分

問 合 せ 先 医療機関専用 022-391-5115 / 患者様専用 0570-003-876

医療機関向け「オンライン症例カンファレンス」について

『オンライン症例カンファレンス』は先生方が日頃の診療で気になることや診断・治療などについて、当院の専門診療科医師とオンラインで検討および意見交換していただくものです。

ご相談を希望される症例がございましたら、当院ホームページ掲載の「オンライン症例カンファレンス問い合わせフォーム」よりお申込みください。送信内容を確認の上、お申込みいただいたメールアドレス宛にご連絡いたします。詳細は当院ホームページをご覧ください。

U R L https://www.miyagi-children.or.jp/medical_institution/online_conference/
ホーム ➡ 医療機関の方へ ➡ オンライン症例カンファレンス

概要

相 談 者	医療機関(医師)	相 談 時 間	最大30分／回	料 金	無料
相 談 方 法	Zoomアプリを使用したミーティング形式 ※Zoomミーティングは、申込者のアカウント設定が必要です。 ※相談日が確定後、相談日前日までに申込者のアカウントで発行したZoomミーティングの招待状を当院へお送りいただきます。				
対 応 診 療 科	新生児科 血液腫瘍科 集中治療科	総合診療科 循環器科 臨床病理科	消化器科 外科	アレルギー科 心臓血管外科	リウマチ・感染症科 脳神経外科 産科 腎臓内科 発達診療科

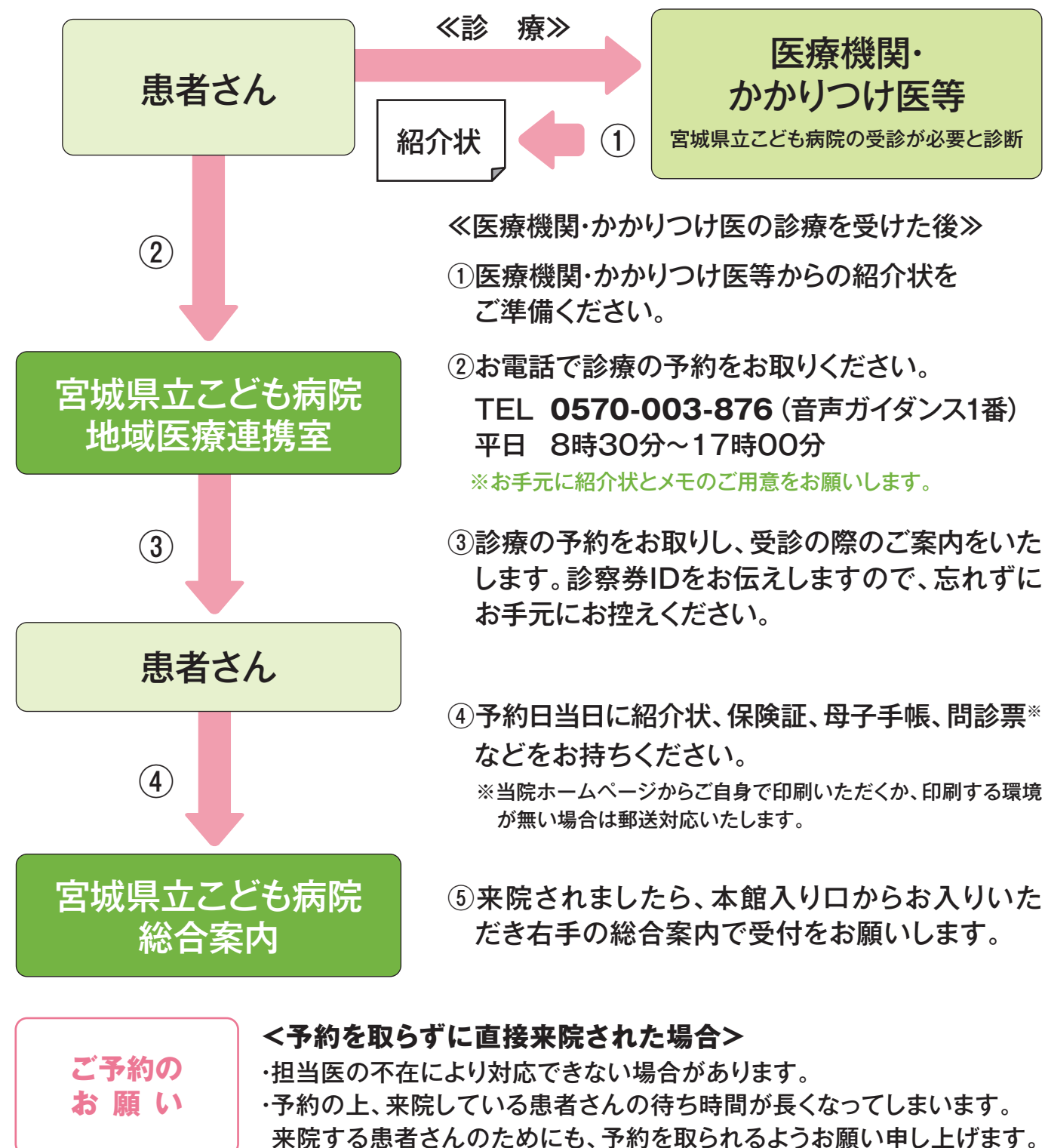
患者さん紹介方法

1 医療機関・かかりつけ医に予約を取っていただく場合



2 患者さん・ご家族に直接予約を取っていただく場合

医療機関・かかりつけ医の先生から、紹介状(診療情報提供書)を患者さん(親御さん:以下患者さん)にお渡しいただき、下記の手順を参考に、患者さん御自身で予約するようご説明ください。



登録医療機関について

当院は地域の医療機関と良好な連携関係を築くために登録医療機関制度を導入しています。
ぜひご利用いただきますようお願いいたします。
詳細は当院ホームページの「宮城県立こども病院 登録医療機関制度要綱」をご覧ください。

U R L https://www.miyagi-children.or.jp/medical_institution/tourokuiryoutouhou
ホーム ➡ 医療機関の方へ ➡ 登録医療機関制度

※お申込みはP27の「宮城県立こども病院 登録医療機関（登録医）申込書」をご利用ください。
※登録に対する会費等は不要です。

主な内容

- 1 登録医療機関認定証を発行します。
- 2 紹介患者さんを積極的に受け入れ、救急医療の必要な患者さんに対応します。
- 3 ご紹介いただいた患者さんの逆紹介に努めます。
- 4 貴院の医療機関情報を当院ホームページに掲載し、医療関係者や患者さんにご活用いただきます。
- 5 診療案内等をお送りします。
- 6 地域医療研修会開催のご案内をメールでお知らせします。
- 7 当院の診療に関するご案内や外来担当医の変更等をメールでお知らせします。

地域医療研修会について

当院では地域医療支援病院として、県内外の周産期・小児医療従事者、地域関係機関への情報発信や知識・技術の向上を目的とした研修会を開催しております。
研修会のテーマは登録医療機関の先生方のご要望なども参考とさせていただき、開催については、当院ホームページ掲載ほか登録医の先生方には電子メールによりご案内いたします。多数の皆さまのご参加をお待ちしております。

- オンライン月イチセミナー
毎月1回を目安に、診療のお役に立てるような内容を診療科毎に発信する、1回あたり質疑応答時間を含めた30分間のセミナーです。
診療内容の紹介や患者紹介の目安に加え、診療のポイント、専門領域のトピックス、診療ガイドライン等を発信しています。
- そのほか「感染対策」、「医療安全」、「虐待対応」、「緩和ケア」、「小児薬物療法」、「成人移行期支援」等をテーマにした研修会を開催しています。

(様式 1)

宮城県立こども病院 登録医療機関（登録医）申込書

宮城県立こども病院
院長 殿

本医療機関又は勤務する医師は、「宮城県立こども病院」登録医療機関又は登録医として、申し込みます。

年 月 日

医師会区分	・ 仙台市医師会 ・ 仙台歯科医師会 ・ ()医師会								
フリガナ									
医療機関名 (又は勤務する医療機関名)									
フリガナ									㊟
開設者名 (又は管理者名)									
郵便番号	〒								
住所									
電話番号	— —								
FAX番号	— —								
ホームページ									
E-mail	@								
診療科名									*専門分野、得意とする分野をご記入ください。 *逆紹介の重要な資料となります。
診療時間	午前 午後	時	分	～	時	分	分	分	
休診日		日	月	火	水	木	金	土	祝日
休診の曜日に×をつけてください	午前 午後								
診療情報	入院病床	有 (床) ・ 無							
	往診	可 ・ 不可 場合によっては可 ()							
	往診時間帯	随時 ・ 診療時間内 ・ 診療時間外							
	訪問診療	有 ・ 無 場合によっては可 ()							
	訪問診療を行っている項目に○を記載してください。	1. 点滴 2. 経管栄養 3. 中心静脈栄養 4. 在宅酸素 5. 導尿 6. 腹膜透析 7. 人工呼吸器 8. 気管切開 9. 在宅医療を必要とする癌患者 10. 治療退院後の在宅医療を必要とする患者 11. 末期(癌)患者の終末医療 12. その他()							
その他									

※本登録用紙にてご記入いただいた E-mail 等の情報は、登録医療機関（登録医）への連絡や
ご案内・広報などのために使用いたします。ご了承の上、ご記入は正確にお願いします。

FAX送信票(診療申込書)

送信日： 年 月 日

送信先	宮城県立こども病院 地域医療連携室 行		
	〒989-3126 宮城県仙台市青葉区落合四丁目3-17		
	〈TEL〉 022-391-5115(直通) / 022-391-5111(病院代表)		
	〈FAX〉 022-391-5120(直通)		
受付時間：月曜日～金曜日までの8時30分～17時00分(祝日、年末年始は除く)			

<発信元>

医療機関名			
ご担当医名	科 先生		
住 所	〒 ー		
T E L	() ー	F A X	() ー

※病診連携室直通

<患者さん情報>

フリガナ			生 年 月 日	S・H・R
お 名 前	様(男・女)			年 月 日
電 話 番 号	() ー			(歳 か月)

救急の患者さんにつきましては、申込書を使わずに022-391-5111(代表)にお問い合わせください。

<診療希望内容>

受診希望診療科	☐ 新生児科	☐ 総合診療科 ※	☐ 消化器科	☐ アレルギー科
	☐ 腎臓内科 ※	☐ リウマチ・感染症科	☐ 血液腫瘍科	☐ 循環器科
	☐ 神経科 ※	☐ 産科 ※	☐ 外科 ※	☐ 心臓血管外科
	☐ 脳神経外科	☐ 整形外科	☐ 形成外科 ※	☐ 泌尿器科 ※
該当診療科に ☒ 印を ご記入ください	☐ 眼科	☐ リハビリテーション科		
	☐ 歯科口腔外科・矯正歯科	☐ 特に指定なし		
※ 事前に診療情報提供書のFAXが必要な診療科 それ以外の診療科でも診療情報提供書を事前にFAXしていただく場合がございますのでご了承ください。				
希 望 診 療 担 当 医 師	無 ・ 有 (医師名：)			
当院での受診歴の有無	無 ・ 有 ・ 不明			
備 考 (希望受診日、症状など)				

※ コピーしてご利用ください

FAX送信票(診療申込書)

送信日： 年 月 日

送信先	宮城県立こども病院 地域医療連携室 行		
	〒989-3126 宮城県仙台市青葉区落合四丁目3-17		
	〈TEL〉 022-391-5115(直通) / 022-391-5111(病院代表)		
	〈FAX〉 022-391-5120(直通)		
受付時間：月曜日～金曜日までの8時30分～17時00分(祝日、年末年始は除く)			

<発信元>

医療機関名			
ご担当医名			
住 所	〒 ー		
T E L	() ー	F A X	() ー
e - m a i l	@ ※入力必須		

<患者さん情報>

フリガナ			生 年 月 日	S・H・R
お 名 前	様(男・女)			年 月 日
電 話 番 号	() ー			(歳 か月)

救急の患者さんにつきましては、申込書を使わずに022-391-5111(代表)にお問い合わせください。

<診療希望内容>

診療予約日 確定までの流れ	①本申込書とあわせて診療情報提供書をお送りください。 ②診療予約日は数日以内(平日)に地域医療連携室よりご連絡いたします。 ③診療情報提供書(原本)は直接、地域医療連携室にご郵送ください。 またあわせて患者さんにご記入いただいた問診票(発達診療科専用+一般問診票)も同封願います。
受 診 希 望 診 療 科	発達診療科
当院での受診歴の有無	無 ・ 有 ・ 不明
備 考 (希望受診日・症状など)	
当院は右記のとおり協働 診察システムを導入して おりますのでご了承くだ さい。 ※詳細については「宮城県立 こども病院 発達診療科 協働 診察システム説明書」をご確認 ください。	④原則として当院受診は初回1回のみです。 ⑤初診評価後は、患者さんにはご紹介元医療機関に通院していただきます。 ⑥但し、ご紹介元医療機関とは当科と定期的に遠隔ミーティングを行い、通院フォローに関して十分な サポートをさせていただきます。 ⑦初診に際して既に重篤な状況にあつたり、協働診察の経過の中で状況が複雑化した場合は、当院通院 フォローに切り替わり、その後の安定した場合は、再びご紹介元医療機関での通院フォローとなります。 ⑧初診後は受診報告書ほか、ご記入いただいたメールアドレス宛に遠隔ミーティングについてご連絡 いたします。

※ コピーしてご利用ください

FAX送信票(診療申込書)

送信日： 年 月 日

送信先	宮城県立こども病院 地域医療連携室 行		
	〒989-3126 宮城県仙台市青葉区落合四丁目3-17		
	〈TEL〉 022-391-5115(直通) / 022-391-5111(病院代表)		
	〈FAX〉 022-391-5120(直通)		
受付時間：月曜日～金曜日までの8時30分～17時00分(祝日、年末年始は除く)			

<発信元>

医療機関名			
ご担当医名			
住 所	〒 ー		
T E L	() ー	F A X	() ー

<患者さん情報>

フリガナ			S・H・R
お 名 前	様(男・女)	生 年 月 日	
電 話 番 号	() ー	(歳 か月)	

救急の患者さんにつきましては、申込書を使わずに022-391-5111(代表)にお問い合わせください。

<診療希望内容>

受 診 希 望 診 療 科	歯科口腔外科・矯正歯科		
希 望 診 療 担 当 医 師	無 ・ 有	歯科医師名：□御代田 浩伸；矯正歯科、口腔外科、障害者歯科 歯科医氏名：□後藤 申江；小児歯科、障害者歯科	
当院での受診歴の有無	不明 ・ 無 ・ 有		
備 考 依頼事項に☑印を ご記入ください 主たる症状など 希望受診日 月 日	☐ 智歯抜歯 ☐ 埋伏歯抜歯 ☐ 矯正用インプラント手術(自費) ☐ 唇顎口蓋裂 ☐ 口腔感染症 ☐ 小帯異常 ☐ 粘液嚢胞 ☐ 歯・口腔・顎の外傷 ☐ その他の口腔外科疾患 (腫瘍、嚢胞、粘膜疾患、神経、唾液腺、) ☐ 扱い困難な小児歯科 ☐ 障害者歯科 ☐ 摂食障害 ☐ CT検査 ☐ MRI検査 ☐ 不正咬合・矯正歯科治療依頼 () ☐ その他 ()		

※ コピーしてご利用ください

E10-21

産科NIPT外来用FAX送信票(診療申込書)

送信日： 年 月 日

送信先	宮城県立こども病院 地域医療連携室 行		
	〒989-3126 宮城県仙台市青葉区落合四丁目3-17		
	〈TEL〉 022-391-5115(直通) / 022-391-5111(病院代表)		
	〈FAX〉 022-391-5120(直通)		
受付時間：月曜日～金曜日までの8時30分～17時00分(祝日、年末年始は除く)			

<発信元>

医療機関名			
ご担当医名			
住 所	〒 ー		
T E L	() ー	F A X	() ー

<患者さん情報>

フリガナ			西暦
お 名 前	様	生 年 月 日	
電 話 番 号	() ー	(歳)	
当院受診歴	有 ・ 無		

<分娩予定日> ※ NIPT外来予約は必ず分娩予定日決定後にお申し込みください

分 娩 予 定 日	西暦 年 月 日
-----------	----------

備 考 (特記事項があり ましたらご記入く ださい)	
-------------------------------------	--

※ コピーしてご利用ください

